

●受難節第一主日

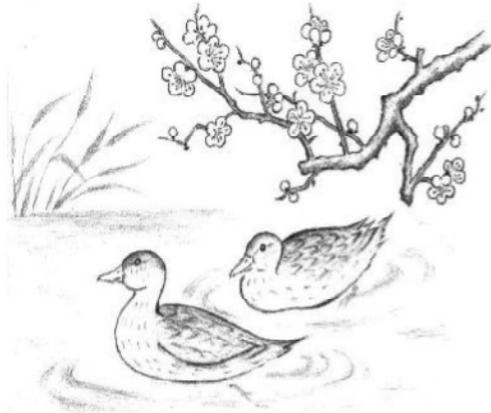
泉のほとり

今月の詩編「第三十二編」

いかに幸いなことでしよう。

主に咎を数えられず、

心に欺きのない人は。



隣人を自分のように愛しなさい

主イエスはある時、こんな話しをしてくださいました。ある人がエルサレムからエリコの町に下って行く途中、追い剥ぎに襲われ、半殺しにされてしまいました。

ちょうどそこに、祭司とレビ人が次々通りかかりました。祭司もレビ人も神殿で神さまの大事な仕事をする人です。ところが祭司もレビ人も、その人を見ると、道の向こう側を通って行ってしまったのです。

この前、幼稚園の礼拝でこの話をしたところ、子どもたちは言いました。意地悪だと。本当にそうだと思います。でもわたしはこの話をしながら、子どもたちと一緒に、ただ意地悪と言っていられないと思いました。祭司もレビ人も、自分のことだと思ってしまうところがあるからです。

祭司やレビ人が行ってしまったのには、理由があったのかもしれませんが、ひよっとしたらまだ追い剥ぎが隠れていて、自分も襲われてしまうと思つた。あるいは、祭司やレビ人は死んだ人に触れると汚れてしまい、神さまの仕事ができなくなります。だから、行ってしまった。あるいは、神殿で仕事を終えて、家族が待っている家に早く帰りたいのかもしれません。

わたしたちもそういうことがあると思うのです。主は隣人を自分のように愛しなさいと言われたのですが、一人ひとり助けていたら、自分の生活ができなくなってしまう。だからせめて、自分の大事な人だけ助

けて、それで神さまもわかってくたさるはずと思つて、色々言い訳をして、愛するのをやめてしまう。

そこにサマリア人がやってきました。サマリア人はその人を見ると憐れに思いました。憐れに思うというのは、お腹が痛くなることです。だからこのサマリア人はこの人に近づいて、この人を助けたのです。

皆さんは、人が苦しんでいる時に、お腹が痛くなりますか。お腹は自然に痛くなるものです。どんなに主イエスが、隣人を自分のように愛しなさいと言われても、お腹が痛くなれと言つても、お腹は痛くなりません。祭司とレビ人が死にそうになっていた人を助けなかつたのは、お腹が痛くならなかつたからです。

そして、これはわたしたちのことです。苦しんでいる人を見ているのに、まるで見ていないかのように行ってしまうわたしたちは、生きていても死にかけている人、追い剥ぎに襲われた人です。

でもそのわたしたちにイエスさまは言われました。この人を助けた人のように、あなたも行って同じようにしてごらんと。どうしてわたしたちにそんなことができるのでしょうか。どうしたらいいのでしょうか。

だから、主イエスが来てくださいました。わたしたちが、隣人の苦しみを自分のことのように苦しむことができなから、神さまはそのわたしたちを救うために、本当に痛みを覚えられて、わたしたちを救うために、主イエスが近づいて来てくださったのです。

心に刻む御言葉

生まれたばかりの乳飲み子のように、

混じりけのない霊の乳を

慕い求めなさい。

これを飲んで成長し、

救われるようになるためです。

(ペテロの手紙一 2章2節)

新しい翻訳

どうかわったのでしよう

41篇

新共同訳

〇一 主よ、どうかわたしを憐れみ

再びわたしを起き上がらせてください。

そうしてくだされば

彼らを見返すことができます。

そしてわたしはしるでしょう

わたしはあなたの御旨に叶うのだと

敵がわたしに対して勝ち誇ることはない。

〇三 どうか、無垢なわたしを支え

とこしえに、御前に立たせてください。

協会共同訳

〇一 しかし主よ、あなたは私を憐れみ

立ち上がらせてください。

私は彼らに報います。

〇三 このことで、私は知りました

あなたが私を喜びとされていることを

敵は私に勝ち誇れないことを。

〇三 あなたは私を全き者として支え

とこしえまでもあなたの前に

立たせてくださいました。

新改訳2017

〇一 しかし主よ、あなたは

私をあわれみ立ち上がらせてください。

そうすれば彼らに報いを返せます。

〇二 このことによつて私は知ります。

あなたが私を喜んでおられることを。

敵は私に向かつて勝ちどきをあげません。

私の誠実さゆえに

私を強く支えてください。

いつまでも
あなたの御前に立たせてください。

《今日のお知らせ》

○受難節に入りました。主のご受難を覚えつつ、この一年受けた恵みの証しをお書きになつて、ご提出ください。原稿用紙二枚(八〇〇字)以内でお願いします。メールでの提出も受け付けます。アドレスは「rent@gloria-chapel.com」です。

《役員会より》

三月二十六日の第二礼拝後(二時二〇分目処)、
「証しと祈りの会」を開催いたします。

《今後の予定》

- 三月五日(日) 教会員懇談会(総会準備)
- 三月十二日(日) 定例役員会
- 三月十四日(火) 附属幼稚園卒園式
- 三月十九日(日) 三月総会

今日の讃美歌 現代語訳

讃美歌239番

1. さまよう人々は立ち帰り
天の御国におられる父を仰ぎなさい
罪や過ちを悔やむ心こそ
天の父から頂いた賜物です
2. さまよう人々は立ち帰り
父なる御神の御前にゆき、
心からの悔いを告白しなさい
世間の人は知らずとも主はご存知です
3. さまよう人々は立ち帰り
主イエスの御許に急いでひれ伏しなさい
私達の主は憐れんで、御手を伸ばされ
こぼれる涙を拭ってください
4. さまよう人々は立ち帰り
十字架の上の主イエスを仰ぎなさい
血の滴る御手を広げられて
「生命をうけなさい」と招いてくださいます



今日の聖書クイズ

(問) ペトロの故郷のペトサイタ近くにある
有名な町はどこでしょう？

- A ベタニア
- B カファルナウム
- C ナザレ
- D カイサリア

(答) 聖書の後方の地図「6新約時代のパレスチナ」をご覧ください。



《次週の礼拝》

● 第一礼拝(午前9時30分)

讃美歌 Ⅱ59番 Ⅱ78番
説教 「今日、救いが訪れた」
聖書 ルカ19章1～10節
説教者 菊池美穂子 副牧師

● 第二礼拝(午前11時)

讃美歌 138番 334番
説教 「数に、熱心さに惑わされぬよう」
聖書 列王記上18章25～29節
説教者 黄允湜 牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 小さい子どもの 小さい羊
説教 「タリタ、クム」
聖書 マルコ5章21～43節(新約P70)
司式 菊池 美穂子 副牧師
聖餐司式 黄 允湜 牧師・菊池 美穂子 副牧師
説教者 宮間 彰広 兄

前奏曲 「日くれて四方は暗く」 J.M.ラズー

○ 讃美歌「小さい子どもの」

1. 小さい子どものサムエルは 神さまの呼ぶ声
聞きました サムエルよ サムエルよ
2. 小さい声で今日もまた 神さまのよぶこえ
聞こえます ぼくのなまえも わたしのも
「しもべはききます。主よ、お話してください」

アーメン

○ 讃美歌「小さい羊が」

1. 小さい羊が いえをはなれ
ある日とおくへ あそびにいき
花さくのはらの おもしろさに
かえるみちさえ わすれました
2. けれどもやがて よるになると
あたりはくらく さびしくなり
うちがこいしい ひつじはいま
声もかなしく ないています
3. なさけのふかい ひつじかいは
このこひつじの あとをたずね
とおくのやまやま たにそこまで
まいごのひつじを さがしました
4. とうとうやさしい ひつじかいは
まいごのひつじを みつけました
だかれてかえる このひつじは
よろこばしさに おどりました

アーメン

聖餐曲 「我らに救いは来たりぬ」 J.P.スウェーリク

後奏曲 「不思議な愛」 T.フェスタートン

第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 137番 239番
説教 「いつまでどっちつかずに」
聖書 列王記上18章16～24節(旧約P563)
司式 菊池 美穂子 副牧師
聖餐司式 黄 允湜 牧師・菊池 美穂子 副牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲 「幻想曲ハ短調」 J.S.バッハ

○ 讃美歌137番

○ 聖歌隊による讃美「とうとし聖体(みからだ)」
とうとしマリアの
御子イエスの聖体
世のため身を裂き
十字架につきて
流るる血潮に 罪をば洗いて
死をもて
救いと常世(とこよ)の命を
我らに給いぬ

○ 讃美歌239番

聖餐曲 「我らに救いは来たりぬ」 J.P.スウェーリク

後奏曲 「不思議な愛」 T.フェスタートン

※ 礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。